

子どもたちの「あふれる笑顔 きらめく瞳」をめざして



中学校区一貫教育校園 玉野市立玉小学校 学校だより第25号（令和4年11月29日）

キャリア教育
（中学校を知る）

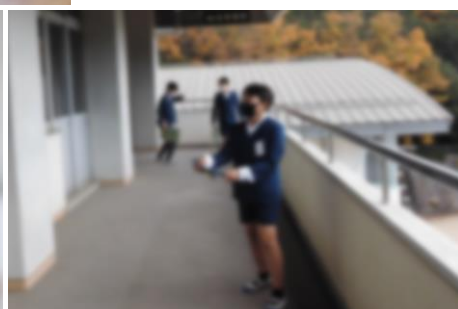
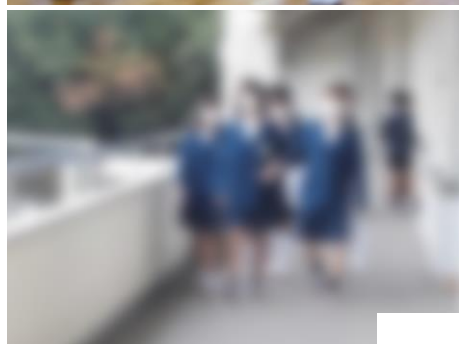
玉中オープンスクール①

11月24日（木）、玉中学校でオープンスクールがあり、6年生が参加しました。来年4月から一緒になる玉原小学校の児童のみなさんと交流したり、中学校の様々な教室をグループで巡ったりしました。



五十音順に一行。これが出席番号に。

校舎探検で、回る順番を相談中



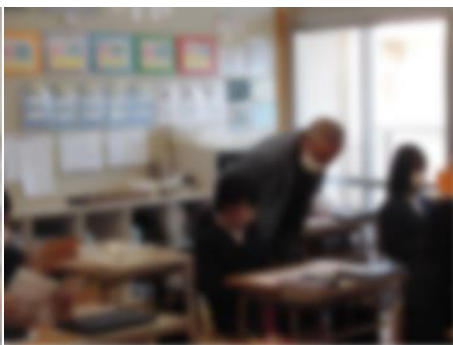
校舎探検中

今後、中学生が数名、本校を訪ね、6年生児童に中学校の学習や学校行事、部活動等について話をしてくれる「ようこそ先輩」や中学校で授業体験等を行うオープンスクール②があります。中学校へのスムーズな接続に向けて、取組を進めていきたいと思います。

キャリア教育
（将来を描く）

立志教育～志とは心が指す方向を定めること～②

11月25日（金）、立志教育の続きを行いました。前回、講師をしていただいた白重俊介さんに再度、来校していただき、事前に6年生児童一人一人が描いた【自分の将来】へのアドバイスをしていただきました。一人一人の席に行き、「なぜそう思ったの？」「それを実現するためには何をすれば良いの？」等の声かけをいただき、子ども達は【自分の将来】について、深く考えられたと思います。一人一人の【描いた将来】を聴くのが楽しみです。



キャリア教育 (社会との接続)

「いもの」って何？～企業発！みらプロ～

11月24日(木)、主に各企業に機械等の販売を行っている備商株式会社(岡山県岡山市)、
鑄造(いものづくり)を中心とした様々な素材の加工を行っている新東工業(愛知県名古屋市)
の方々に講師にお迎えし、5年生社会の授業【自動車をつくる工業】の一部を行っていただき
ました。自動車をつくる技術には様々なものがあり、その中の1つである、鑄造の技術(金属
をとかして液体にして、型に流し込み、冷やして目的の形状に固める加工方法)をレリーフづ
くりで体験しました。

企業発！みらプロとは。

企業が持っている技術力、働く人の魅力、仕事で得た経験などを子どもたちに伝えること
で、その学びをさらに深め、広げていけるようなプログラム(「学習」と「社会」とをつな
ぐ子どもの「学びの場」)をつくるプロジェクト。

あれもいもの、これもいもの…「世の中
にはいもの製品がたくさんあるなあ」

さあ、これからレリーフづくり

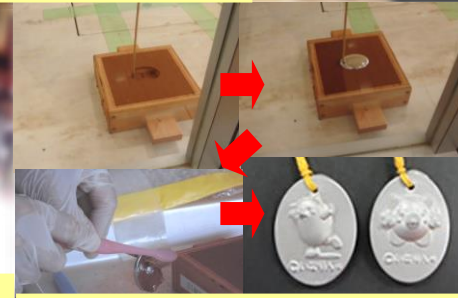
まずは金属を流し込む型づくり



型に砂を入れて、固めます



固めたら、底を上側にして…



底をとって…うまくできているかなあ

溶かした金属を型に流し込む。溶かし
た金属は熱いので、この工程だけは企
業の方が行いました。

型にストラップ穴のために竹串をさ
し、金属注入。冷えたら余分な砂を歯
ブラシで取り、ストラップをつけて完
成！

私は、この授業の途中から出
張だったため、5年生のみんながつくっている様子は見るこ
とができず残念でしたが、あとできくと「めっちゃいいものできた」「楽しかった」の声が多く、
嬉しかったです。授業前には知らなかった鑄造(いものづくり)を体験を通して学び、知っ
ていことが増えました。自動車をつくる工業はもちろん、身の回りで使われている「いもの製
品」を探してもおもしろいと思いますよ。

岡山県生涯学習センターから「このプロジェクトを玉小で行ってくれないか？」というお話を
いただいたのは夏でした。そこから担任の先生を中心に、授業プランや運営について、岡山県生
涯学習センターや備商株式会社、新東工業の方々と何度も打ち合わせをしたり、岡山大学の先生
のアドバイスをいただいたりして、この日(11月24日)を迎えました。またこの日より前の授業
で5年生は、実際の製品づくりの現場の映像を見ました。「学習」と「社会」とをつなぐために、
備商株式会社を通じて、その現場を撮影させていただいたアサゴエ工業(株)の方々のご協力もあ
りました。関わっていただいた全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。